

○ 「福島県の災害廃棄物等の処理進捗状況についての総点検」(平成25年9月10日)を踏まえ、対策地域内廃棄物処理計画(以下「処理計画」という。)の見直し(平成25年12月26日)を行い、処理計画に基づき災害廃棄物等の処理を実施中。

- 平成27年度までに、帰還困難区域を除いて、津波がれきの仮置場への搬入、特に緊急性の高い被災家屋等の解体・仮置場への搬入、帰還の準備に伴って生じる家の片付けごみの一通りの回収について完了。
- その他の、被災家屋等の解体及び継続的に排出される片付けごみの回収については、引き続き対応しているところ。

災害廃棄物等の仮置場への搬入は、平成29年10月末時点で、約174万トン完了(うち、約31万トンが焼却処理済、約88万トンが再生利用済)。搬入された災害廃棄物等は可能な限り再生利用を行っている。種類別の処理の状況は次のとおり。

### (1) 津波による災害廃棄物の処理

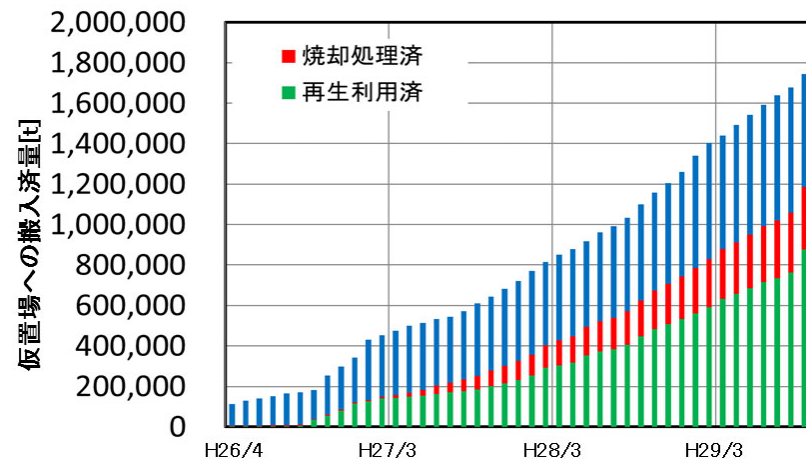
○ 平成28年3月に、帰還困難区域を除いて津波がれきの撤去と仮置場への搬入を完了。搬入された廃棄物は、重機等により破碎・選別処理を実施。

### (2) 被災家屋等の解体撤去

○ 被災家屋等の解体関連受付・調査を行い、順次解体撤去を実施中。解体撤去申請は約12,200件受付済であり、解体工事公告済は約10,400件、うち、解体撤去済は約9,100件。

### (3) 片付けごみの処理

○ ステーション回収や戸別回収訪問を行っており、戸別回収については、希望者と日程を調整の上、回収を実施。



対策地域内の災害廃棄物等の仮置場への搬入済量  
注) 仮置場へ搬入せずに処理する量も含む。



撤去前(平成26年7月)



撤去後(平成28年3月)

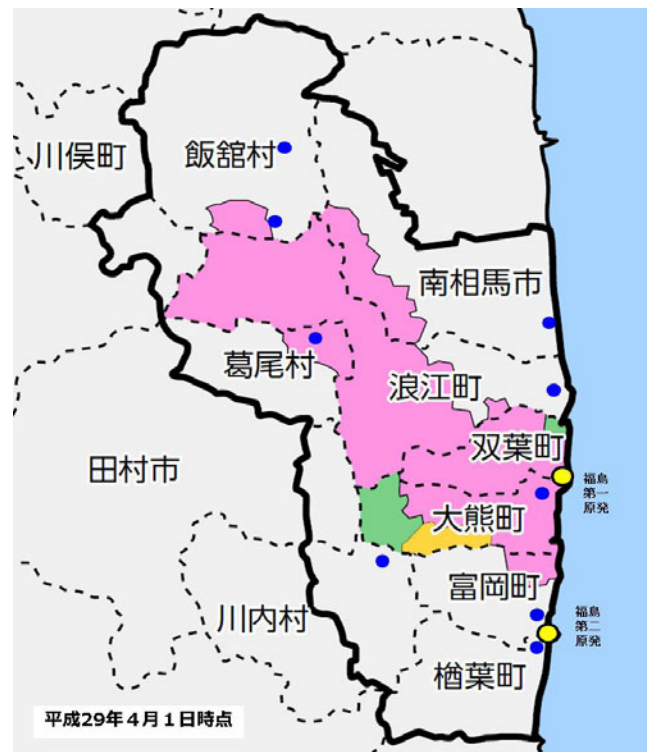
浪江町における津波がれきの撤去状況

# 国直轄による福島県(対策地域内)における仮設焼却施設の設置状況(平成29年12月1日時点)

- 9市町村(10施設)において仮設焼却施設を設置することとしており、それぞれの進捗状況は下表のとおり。平成29年10月末までに約65万トン(除染廃棄物を含む)を処理済。
- 現在稼働している仮設焼却施設においては、環境モニタリング(※1)を実施しており、排ガス中の放射能濃度が検出下限値未満であること等を確認している。

(※1) 環境省放射性物質汚染廃棄物処理情報サイト <<http://shiteihaiki.env.go.jp/>>

立地地区	進捗状況	処理能力	処理済量 (平成29年10月末時点)
川内村	災害廃棄物等の処理完了	7t/日	約2,000トン(約2,000トン)
飯舘村 (小宮地区)	災害廃棄物等の処理完了	5t/日	約2,900トン(約2,900トン)
富岡町	稼働中(平成27年4月より)	500t/日	約139,000トン(約47,000トン)
南相馬市	稼働中(平成27年4月より)	200t/日	約128,000トン(約80,000トン)
葛尾村	稼働中(平成27年4月より)	200t/日	約101,000トン(約28,000トン)
浪江町	稼働中(平成27年5月より)	300t/日	約160,000トン(約91,000トン)
飯舘村 (蕨平地区)	稼働中(平成28年1月より)	240t/日	約66,000トン(約22,000トン)
檜葉町	稼働中(平成28年11月より)	200t/日	約47,000トン(約23,000トン)
大熊町	建設工事中	200t/日	—
双葉町	公告中	300t/日	—
川俣町	既存の処理施設で処理	—	—
田村市	既存の処理施設で処理	—	—



- 仮設焼却施設  
(建設工事中、解体撤去済等を含む)
- 汚染廃棄物対策地域
- 避難指示解除準備区域
- 居住制限区域
- 帰還困難区域



大熊町の仮設焼却施設(工事中)(平成29年4月)

※処理済量については、除染廃棄物も含み、( )内はうち災害廃棄物等の処理済量。

# 国直轄による福島県内市町村毎の災害廃棄物等の処理進捗状況(平成29年12月1日現在)

市町村	災害廃棄物等の 仮置場への搬入済量 (平成29年10月末時点)	災害廃棄物等の処理状況
南相馬市	約54.0万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約2,850件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約2,640件公告済、うち、約2,410件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
浪江町	約45.7万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約2,940件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約1,970件公告済、うち、約1,750件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
双葉町	約1.5万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(98件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(22件公告済、うち、10件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
大熊町	約1.2万トン	<p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約220件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約110件公告済、うち、110件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
富岡町	約28.1万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付中(約2,440件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約2,260件公告済、うち、約1,790件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>
楢葉町	約18.7万トン	<p>【津波がれき】仮置場に搬入完了。</p> <p>【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約1,420件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約1,420件公告済、うち、約1,360件解体撤去済)。</p> <p>【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。</p>

# 国直轄による福島県内市町村毎の災害廃棄物等の処理進捗状況(平成29年12月1日現在)

市町村	災害廃棄物等の 仮置場への搬入済量 (平成29年10月末時点)	災害廃棄物等の処理状況
飯舘村	約12.3万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約1,390件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約1,110件公告済、うち、約790件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
川俣町	約3.8万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約390件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約390件公告済、うち、約370件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
葛尾村	約7.9万トン	【被災家屋等】解体撤去申請を受付済(約360件申請受付済)であり、解体撤去を実施中(約360件公告済、うち、約340件解体撤去済)。 【片付けごみ】一通り仮置場に搬入完了。引き続き、回収を実施中。
田村市	※仮置場は 設置しない方針	【被災家屋等】被災家屋等について、解体撤去済(19件)。 【片付けごみ】既存の処理施設で処理済。
川内村	約9,400トン	【被災家屋等】被災家屋等について、解体撤去済(102件)。 【片付けごみ】仮置場に搬入完了。

※1:福島復興再生特別措置法に基づく災害廃棄物等の処理分は除く。

※2:片付けごみは、帰還準備を行う住民の方の希望に応じて回収を実施している。

※3:推定量や仮置場への搬入済量については、有効数字2桁で四捨五入。但し、10万トン以上の場合は、1,000トン未満を四捨五入。

※4:被災家屋等の解体撤去申請受付済件数、解体公告済件数及び撤去済件数は平成29年11月10日時点での件数。解体撤去済件数は、完了検査が終了した件数。